

自己実現2023

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

3年生で実施する実力考査は5回あります。①第1回実力考査(4/12~13)実施済み。
②第2回実力考査(6/13~14) ③第3回実力考査(9/1~2) ④第4回実力考査(9/30~10/1)
〈第2回駿台・ベネッセ模試で代替〉 ⑤第5回実力考査(11/9~10)で判定資料に用いる語
句説明を以下に記します。

[A%・B%成績]

3年生の実力考査は、成績結果を「A%」・「B%」という数値で表示します。さらに、その成績にもとづき神戸高校独自の可否追跡調査を行い、資料を作成しています。

「A%」成績は次のように算出します。

文系 (国：200+英：200+数：200+社：200+理：100)／9

理系 (国：200+英：200+数：200+社：100+理：200)／9

◎第1回実力考査は、「倫理、政治経済」が未実施なので、それを除いたデータで算出しています。

「B%」成績は、校内実力考査(記述模試)のデータのみ利用し、次のように算出します。

文系 (国：200+英：200+数：200)／6

理系 (英：200+数：200+理：200)／6

可否追跡調査に用いる総合成績は、第3回～5回の実力考査の各科目の平均を算出し、「A%」・「B%」成績の算出式に代入します。

「A%」成績が5教科の総合的な実力(大学入学共通テストの得点状況と密接な関連があります)を示すのに対し、「B%成績」は国公立大学の二次試験の実力を示す数値です。

[第1回実力考査教科・科目別講評]

<国語>

平均点は模範解答、解説に記載の通り。現代文の得点率に大きな差はなく、点差が開いたのは、古典分野である。春休みに1・2年時の内容をきつと復習しているだろうが、基礎を定着させるためには、繰り返し学習することが大切である。引き続き取り組んでほしい。

現代文は、課題・実力ともに、筆者の思考の流れを整理して文章を読み、傍線箇所と対話して、要素を落とさない答案を目指そう。また、四字熟語や言葉の意味など、このような機会を利用して、頭に入れよう。

古文は、これまでの取り組みによってかなり力の差がついてきている。できているものは、語注などにも目を通す余裕があり、記述している内容も要素をはずしていない。基本的な古語の読み方や意味、また、敬語・文法など、基礎的な知識がまだまだ不足している答案が目立ち、非常に残念であった。今のうちに古文の常識的な事項を再確認することが必要である。実力問題の**七**では、よくある掛詞や祈禱(呪詛や調伏のための)について、これを機会に知ってもらいたい。

漢文では、句法・語法の基礎知識がまだまだ定着していないことが明らかとなった。今さらではあるが、声に出して、漢文特有の言いまわしを体得することが必要である。また、文章の構成は、故事や比喻、一般論を最初に述べ、現状を分析し、策や方法を提案するといった、明解で美しいものが多く、それさえ分かれば理解しやすいはずである。「明説漢文」一冊をマスターするつもりで、基礎固めにさっそく取り組んでもらいたい。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現2023]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈数学〉

文系 120 分、理系 150 分の試験で、大問 1～5 は文理共通問題、大問 6 は理系対象の問題で、全問題が記述式での出題であった。記述式の問題は、答えのみを解答欄に書くタイプの問題に比べて難しいと思っている生徒がいるかもしれないが、記述式でも小問に分かれている場合、最初の小問は比較的基本的な問題が出題されることが多い。また、最終的な答えが計算ミス等で間違えていたとしても、記述式なら部分点を得られることもある。できる問題で確実に得点できるよう、まずは、教科書、4Step、チャートで大学入試数学に必要な基本事項の知識をしっかりと固めて、基本的な問題を確実に解ける力を養ってもらいたい。また、記述式の問題では、マーク式の問題と違い、人間が採点することになる。したがって、採点者である人間が読みやすい解答を書くことが大切である。最低限、丁寧な字（読みやすい字）、読みやすいレイアウトで解答を記述してほしい。解答欄と計算欄を混同している生徒が多い。さらに、式だけの羅列ではなく、簡潔にわかりやすい日本語で説明することも重要である。採点者に自分の考えを分かりやすく伝えるために、まずは、つたない日本語でも構わないし、表や図での説明でも構わないので、きちんと説明を記述することをこころがけよう。3年生になり演習授業も増えてきました。新しい問題にどう対処していくのかその解法を考える必要があります。授業を通じて様々な解法を身につけていきましょう。予習も復習もせずに授業を受けていても実力はつきません。しっかりと自分で考えて、最後まで問題を解き切っていく過程の中で、計算力、思考力、答案作成能力（正しい記述をする力）がついていきます。練習あるのみです。

〈英語〉

今回は名前こそ「第 1 回実力考査」だが、大問【4】以外の長文 3 題は春休みの課題からの出題であった。しかし、課題に対して「理解が不十分だったところをきっちり復習して自分のものにする」姿勢が徹底できない者がまだ多かった。それがわかる一例が、解説でも触れた、大問【3】4. の答案である。

6 月の第 2 回実力考査からの長文の出題では、文字通り、初見の英文を読みとり答案を作る実力が試される。出題は、共通テスト後の個別試験を視野に入れ、記述式の解答や、より長い文の和訳・英訳も増えていく。学年全体で一番正答率が高かったのは、大問【6】の語彙の分野で、一番低かったのは、大問【12】の英訳であった。大問【7】～【9】の文法(正答率 35.4%)力は、個別試験で大きな配点を占める長文読解や和訳・英訳の得点獲得のための重要な基礎となる。授業で実施の Target や POWER STAGE の小テストの機会も有効に活用しつつ、文法力も引き上げ続け、長文の速読・精読、復習時の音読(非常に有効)、和訳、英訳に粘り強く取り組み、英語の力を伸ばしていこう。

〈理科〉

物理

大問は 4 問で分野は第 1 問、第 2 問（力学）、第 3 問（熱力学）、第 4 問（波動）から出題した。各分野の平均得点は以下の通り。

	力学(40点)	熱力学(30点)	波(30点)	全体平均点
全体	12.2	8.7	3.8	23.7
普通科	11.3	8.6	3.6	22.5
総合理学科	16.4	9.3	5.1	29.9

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

[自己実現 2023] など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

第1問 春季課題である重要問題集から出題。角度を θ から 30° に変えていたが、問題文をよく読まずに解いている者が数多く見られた。また、二次方程式の解の公式を使って時間 t を求める際に、2乗のし忘れ等のケアレスミスで正解にたどり着けない者が多かった。難易度を考えても必答の問いである。自分の間違いを見直して二度と同じことをしないよう気を付けてほしい。**第2問** 斜方投射と反発係数の複合問題。「滑らかな壁で跳ね返る場合、壁に平行な成分の速度が変化しない」という基本をおさえておかないといけない。 $\sqrt{\quad}$ がたくさん出てきて、ケアレスミスを誘う計算をするので注意力が必要である。**第3問** p - v 図を使い、気体の状態変化を見ていく問題。「状態方程式 $pV=nRT$ 」と「熱力学第一法則 $\Delta U=Q+W$ 」を使えば**30点満点**も狙えるはずの基本的な問題である。正答率が10%を超えなかったのは勉強不足であると思えない。頻出の問題なので必ず解けるようにしておくこと。**第4問** ニュートンリングの問題。難易度はかなり高く、特に(2)(4)は解けなくても仕方がない。ただ、(1)(3)に関しては基本の考え方を使う至って簡単な問いである。それだけで10点はとれたはずである。

物理基礎

第1問 (力学)、**第2問** (波)、**第3問** (熱)、**第4問** (電気)と4分野から出題。平均点が10点弱という結果になってしまった。得点源になるはずの**第1問**が、自由落下と見せかけて、実は鉛直投げ上げ運動であるという、少しひねった問題で、ここで点数を稼ぐことが出来なかったことは大きな痛手である。ただ、1年間のブランクがあったことが今回の低い平均点の大きな理由であり、それに関しては、これから9か月ほどかけて記憶を取り戻していけば良い。1学期の間は基本を復習し直し、「基本問題は必ず解ける」という自信と力をつけてほしい。

化学

■受験者 226人 平均34.2点 (最高点93点, 最低点7点)

春休みの課題を確実にやり遂げた人は、その成果が出たのではないかと思われる。**大問1**は、共通テストに出されるような問である。基本的な理解が必要な問題ばかりである。間違った問題は、必ず考え方から確実に理解しておくこと。**大問2**はナトリウムの化合物に関する問題である。陽イオン交換膜法における現象の理解と電気分解の計算だが、各電極でのイオン反応式から求めることを基本とする、できてほしい問題である。炭酸ナトリウムの2段階滴定の問題だが、化学反応式はかけないといけない。量的関係も反応式から見えてくるが、滴下量がともに等しくなることを理解しておく、難しい問題ではない。**大問3**は溶解度と沸点上昇度に関する問題である。電解質の質量モル濃度の扱いが重要で、電離したイオンを考慮した総質量モル濃度で扱う必要があることがポイントになる。正答率は低かった。**大問4**は気体の圧平衡定数を扱う問題である。平衡時におけるモル比が分圧比になることを考えて、全圧から求めることができる。もう一度確認しておくこと。**大問5**は無機物質の問題である。周期表と関連づけて、系統的に性質を理解し覚える必要がある。

計算力をつけることは必要になる。ただ、その前にやはり基本的な内容を確実に理解していくことが優先される。その中で計算も上達させていってほしい。早い段階で、基本事項は確実に理解して、反復をしていくことで確実にになっていく。粘り強く演習を積んでほしい。今後に期待している

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

[自己実現2023]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

化学基礎

■受験者 98人 平均 18.32点 (30点以上 11人 9点以下 15人)

1年生の時に学習した内容で、また計算も必要な問題も多かったので、20点前後の平均点を予想していたが、概ね予想に近い点数となった。しかし得点が1桁の者も何人か見られたので全体を通してよく復習して次回に臨んでほしい。

第1問 元素や原子に関する問題

ほとんどが基本的な知識を問う問題なのでしっかり復習してぬけないようにすること。また分子式、電子式、構造式を正しく理解しているものが少なく誤答が多かった。

第2問 基本的な計算問題

どちらも春課題からの出題であったが、正答率が低かった。一度解いただけで満足せず何回も解きなおして知識の定着を図ってほしい。

第3問 酸塩基、中和に関する問題

ガラス器具の名称、指示薬などは問われることが多いので必ず覚えておくこと。(6)ではモル濃度を求めるまでたどり着いたが、10倍希釈した記述を見逃し、希釈したままの濃度で答えたものが多かった。昨今の共通テストでは問題分の読む量が増加傾向にあるので、問題文を早く正確に読む練習をしてほしい。

第4問 酸化還元に関する問題

(1)(2)の半反応式は酸化還元の基本であり、イオン反応式の導出、酸化還元滴定でも必要な事項なので書けないといけない。

2年前に学習した内容なので忘れていることも多いと思う。わからないのか、忘れているのか各単元ごと明確にし、わからないところを中心に復習を進めていってほしい。

生物

■受験者 37人 平均 29.3点 (最高点 70点, 最低点 7点)

大問1と大問2の文Iまでは春季課題からの出題。それ以外は二次の入試問題を参考に作成した。分量は少なくし、考えて筆記で解答する問題を中心に出題した。結果は生物に時間をかけた生徒とそれ以外の生徒に大きな差が出た。

重要語句等の正確性が不足しており今後の課題である。この時期はまだ本格的に生物に取り組んでいる生徒は少ない。しかし過去の経験から難関大や医学部医学科を志望し合格した者は時間がなくても工夫し力をこの時期からつけていた。今年度は特に薬学科や医学科志望の生徒が多いので二次試験を見据えて確実に力をつけていってほしい。そのためには復習をしっかり自分で理解できるまですることが必要になる。

まず、授業中に効率よく学習をし、定期考査、実力考査で各自の積み残している範囲を見つけて復習を徹底的にする。また、実験考査問題は自分で考えないと力はつかない。最初は解けなくても、決まった時間は考える習慣をつけることが最後の伸びしろにつながる。焦らず、しかし着実に少しずつ学力を伸ばしていって欲しい。今からが勝負です。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現 2023]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

生物基礎

■受験者 99人 平均 16.9点(最高点 34点, 最低点 4点)

1年間のブランクはやはり大きい。しかし、例年と大きく差はなく生徒が本気になるのは10月以降なのであまり心配はしていない。

全体を通して基本的な用語とよく出る計算を出題したが、例年であればクラスに2~3人は正解するのだが今回は大問2の問2の正解者は一人もいなかった。計算能力が理系並みの生徒の数が少ないのかもしれない。少しずつ授業中に基礎用語を正確に理解したうえで覚える。計算問題を繰り返し解くことで理解する。短い時間を有効に使っていきましょう。

<地歴>

世界史

1 出題内容

大問1~7…春季課題より(150字論述など、実力問題も追加した)

大問8…文系私立大形式(近現代イギリス史、難関私立大レベル)

大問9A…共通テスト形式(テーマ史、思考力を要するため共通テスト難問レベル)

大問9B…共通テスト形式(テーマ史、資料読解を要する。共通テスト標準レベル)

大問10…資料読解の実力問題(難関私立大レベル)

2 分析

- ・マークで正答率 33.3%を切った問題 6 題のうち、5 題は基本問題(だと思っていた)。
- ・並び替え問題が弱い。世紀のイメージをつけ、○世紀の前半/中頃/後半にあったかをとらえてほしい。
- ・論述は解答形式としては難しいが、問われている内容は基本的。分かっていないから書けていないだけ。まず何か書け(諦めるな)。次に事実を書け(事実捏造が多すぎ)。次に古い順に書け(流れが大切)。表現方法はこれらができてから。

3 指導方針・学習の心構え

「×難しい問題を答えて差を広げる」→「○易しい問題を答えて差をつけられない」

正答率 66.6%以上の問題を間違えた者には別途課題を課す。

古代史の学習を進めながら、折に触れて近現代の復習を行っていく。

日本史

1 出題内容

大問は【1】明治中期以降の対外戦争(史料読解)、【2】満州事変ごろの日本の対外政策(史料読解)、【3】幕末・維新时期~明治中期の政治・社会・文化、【4】明治後期~大正期を中心とした政党政治・社会運動史、【5】日中戦争期~戦後の総力戦体制、【6】縄文~天武・持統期までの古代史。なお【1】【2】以外にも史料読解問題をその都度挿入した。

2 分析

用語の単純な暗記で解答できる問題はほとんど出題せず、時系列・事実関係・因果関係がわからないと解けない問題ばかりにした。したがって解答には相当苦勞したと思う。このタイプの出題は問題集をやり込むよりも教科書を読みこまないと解けないので教科書の読み込み不足が点数にあらわれているといえる。特に論述(3題)において背景や原因を説明することを求めたため個人差が顕著である。事実関係と時系列の誤りも論述中に大量に見られたので、配布した解説をよく読み誤解は早急に訂正すること。また想定よりも内閣の順番と時系列が頭に入っていない。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

[自己実現 2023]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

どの年代にどの勢力(政党)がどのような理由で組閣し、どのような政策がなされたかを知る必要がある。内閣制度成立以降は内閣を縦軸として近現代の政治史を時系列的に押さえるのが基本なのでこれも早急に要復習(自分で表を作るのも効果的)。史料問題においては基礎知識の不足のため、どの年代の史料か推定できずに解けないというパターンがみられた。アドバイスとしてはとにかく教科書を読み飛ばさず近現代の時系列・出来事の背景を丁寧に確認する必要がある。

地理

2年生で学習した範囲をすべて網羅して出題した。特に大地形、気候などの自然地理の分野は単純な丸暗記だけでは解けない問題で構成した。平均点 38 点。この時期にこのレベルの問題であればこれぐらいの平均点でも驚くべき低得点ではない。

正答率が 10%台の問題も散見された。1月の平均気温と標高の問題である。これは大地形がイメージできていて、且つそれぞれの地点の気候区がわかったうえでの応用問題である。このような問題に一つずつ知識を上積みして解けるようになって欲しい。大地形や気候区は2年の4月～6月に学習し、それ以降は復習をすることなく今に至っている。これから小テストや過去問をじっくり解きながら自分のものにして欲しい。

■まとめ：『成績のいい人はテストの見直しをしている！』

テストは結果ばかりをみるのではなく、間違った問題を必ず見直しをすること。間違い直しは最も効率のいい学習法です。見直しをしないのはとても損をしていることに気がつかない人は次のテストでは残念な結果に終わるかもよ…。わからないところは先生に質問してください。

期	月	定期考査	実力考査	業者模試など
1 学 期	4月		第1回実力考査 4/12, 13	
	5月	中間考査 5/20～5/26		
	6月		第2回実力考査 6/13, 14	業者模試(マーク) 6/3,4
7月	期末考査 7/1～7			

【後記】 3年生になって初めての校内実力考査の結果はどうでしたか？人によっては2年生の時の成績から、かなり変動がありました。日々の取り組みの違いが少しずつ積み重なって大きく成績の差に現れたのだと思います。次の校内実力は 6/13(月)・14(火)です。その前の6/3(金)放課後と6/4(土)全日に「進研総合学力マーク模試」があります。今回の成績に満足がいかない人は、自分で1か月の計画を立てて、次のテストまでに着実に学習を進めてください。進路指導室前に置いている『学習記録表』も活用してください。テスト結果が今一つだった人は「人と比べて自分をみるのではなく、昨日の自分より一歩だけ前進していればいい！」と前向きに考えましょう。新入生が部活動に加入し、部活動にも活気が増しています。後輩たちに技術面だけでなく勉強の面でも尊敬される先輩を目指しましょう。**疲れていても予習、復習を欠かさず、毎時間の授業に集中し、居眠りなど決してしない先輩こそ尊敬される先輩です。**新入生から全ての意味で憧れの先輩となれるよう、気を引き締めて日々の学校生活を送りましょう。そしてかっこよく『**第一志望に現役合格**』を果たしましょう。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

【自己実現 2023】など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。